

## 事業計画書

事業名	～僕たち私たちにもできる～ 災害に強い！地域防災の輪 39		
重点テーマへの該当	有 テーマを記載	「さくの絆作戦」を基礎として地域が防災力を高める取組	
	無		
実施箇所	佐久市立岸野小学校		
実施期間	事業開始予定年月日	令和2年	6月 1日
	事業終了予定年月日	令和2年	12月 31日
事業概要	<p>&lt;事業の目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年台風19号の被災経験を踏まえ、今後いつ起きるか分からない災害に対し、この事業を実施することにより、子供たちの防災意識とスキルを高める。</li> <li>・地域コミュニティ醸成のため、地元消防団や自衛隊、青年部が地域住民と協力連携する。</li> <li>・地域消防団と自主防災組織である区・地域住民が連携することで居住地域で想定される災害対策・対応を共有し、共に助け合い支え合う意識を持つことで「さくの絆作戦」として地域の防災力を強化する。 (重点テーマ)</li> </ul>		
	<p>&lt;事業の内容&gt;</p> <p>岸野小学校の体育館を利用し、電気水道ガスなどライフラインを使用できない状況下での、集団避難生活体験</p> <p>◎地域住民、地域団体との被災時の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元消防団や地元PTA・社会福祉協議会・地元住民の方等と、災害時の備えと対策を支援活動の体験を通じて学び「さくの絆作戦」として地域防災力を高める。（重点テーマ）</li> <li>・集団避難所での会話による世代を超えたコミュニケーションづくり</li> </ul> <p>◎集団避難生活における居住スペースの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた材料を利用したベッドの作成</li> <li>・プライバシー確保のための間仕切</li> <li>・夜間の明かりの確保のため、ろうそく手作り体験</li> <li>・集団生活でのルール決め 等</li> </ul> <p>◎災害時の支援活動の体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊の給水車を利用した飲料水の確保や入浴、非常時の調理体験</li> <li>・消防団の土のう作り体験</li> <li>・着衣での水難救助体験 等</li> </ul> <p>◎子供版の避難生活マニュアルの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験を通じて災害時における避難生活のマニュアル(39項目)の作成</li> <li>・市内小学校や実施地域（区）への配布</li> </ul>		

<達成目標>

災害に強い人と地域づくり

- ・小学生を対象に、ライフラインの使用できない状況下での集団避難生活の体験を通じて防災意識を高めるとともに、地域コミュニティ醸成する。
- ・「さくの絆作戦」として地域の防災力を高める。

<広報表示の方法（佐久市まちづくり活動支援金事業である旨の表示）>

- ・岸野小学校での参加募集チラシへの表示
- ・岸野地区回覧板への表示
- ・佐久商工会議所会報への掲載
- ・メディア関係の取材依頼

<重点テーマに該当する場合 該当する理由（アピール）>

- ・いつ起きるか分からない災害に対し、この事業を実施することによって、子供たちの防災意識とスキルを高めることにつながる。
- ・地元消防団や自衛隊、青年部が地域住民と協力、連携することにより、地域コミュニティ醸成を図る。
- ・地域消防団と自主防災組織である区・地域住民が連携することで居住地域で想定される災害対策・対応を共有し、共に助け合い支え合う意識を持つことで地域の防災力を強化する取組みとなる。

年間計画	4月	・実施日程、事業内容確認
	5月	・連携団体との打合わせ
	6月	・地元消防団、自衛隊、地域住民と事前打合せ
	7月	・タイムスケジュール作成、実施内容の段取り
	8月	・地域住民へ周知 ・プレスリリース
	9月	◎週末二日間で実施
	10月	
	11月	・子供版避難生活マニュアル作成
	12月	・佐久市内小学校や実施地域にマニュアル配布 ・反省会（事業報告等）
	1月	
	2月	
	3月	

	<p>地域や社会にどのような利益がもたらされるか</p>	<p>&lt;「公益性」の視点&gt;  地域での連携による被災者の集団避難生活のモデルケースとなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者 佐久市内小学生（5、6年生）</li> <li>・参加予定人数 佐久市内小学生 約65名（参加対象者） 地域住民（区民） 約35名（参加対象者） 連携団体（地元消防団、自衛隊等含む）約40名</li> </ul>
	<p>どのような点に独自性や工夫があるか</p>	<p>&lt;「発想の豊かさ」や「創意工夫」の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型事業を実施することにより、地域消防団や各連携団体の災害時における活動や、日頃からの地域との関わりに気づく機会となる。</li> <li>・子供たち主導で避難所生活でのルール決めや避難所設営を行うことにより、災害時の子供どうしの助け合いの精神や必要な力・知識が身につく。</li> </ul>
	<p>市内へどのように取組が波及していくことが見込まれるか</p>	<p>&lt;「波及効果」や「発展性」の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験後の子供版の避難生活マニュアル作成（体験内容・感想、災害の備えオススメアイテム等掲載）</li> <li>・地域（区）全体、市内での防災意識が高まる</li> </ul>
<p>特記事項</p>	<p>活動を継続するためにどう取り組むか</p>	<p>&lt;「自立性」の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久商工会議所青年部が企画運営を行うことで、事業を実施する。</li> <li>・実施地域・小学校をモデルケースとして、引き続き継続していきたいと考えています。</li> </ul>
	<p>翌年度以降の活動内容概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施後、事業効果等を協議し実施予定。</li> </ul>
	<p>事業の最終目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生を対象に、ライフラインの使用できない状況下での集団避難生活の体験事業を実施することにより、防災意識を高めるとともに、災害に強い人・地域コミュニティを醸成する。</li> <li>・子供たち主導で避難所生活でのルール決めや避難所設営を行うことにより、災害時の子供どうしの助け合いの精神や必要な力・知識が身につく。</li> <li>・体験型事業を実施することにより、地域消防団や各連携団体の災害時における活動や、日頃からの地域との関わりに気づく機会となる。</li> <li>・地域消防団と自主防災組織である区・地域住民が連携することで居住地域で想定される災害対策・対応を共有し、共に助け合い支え合う意識を持つことで地域の防災力を強化を図る。</li> </ul> <p>佐久市の防災意識向上・強化のモデルケース事業となる。</p>